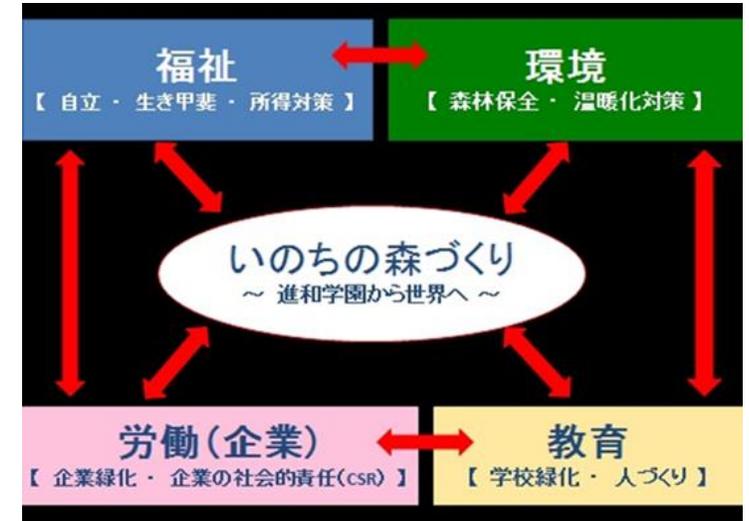


## 『障がい者と共に植樹活動を行い、生物多様性を体験しましょう！』

### ■“いのちの森づくりプロジェクト”とは

宮脇昭先生（横浜国立大学名誉教授、国際生態学センター長）が提唱される潜在自然植生理論に基づく「その土地本来の木による本物の森づくり」を目指し、「どんぐり」の実から植樹用のポット苗を栽培する社会福祉法人進和学園のプロジェクトです。障がい者ご本人の自立・所得対策（工賃確保）の一環として、皆で栽培した苗木を各所での森林再生や緑化活動に広くご利用頂くことを目指しています。



### ■「森づくり」は「人づくり」

宮脇先生の森づくりの考え方は、「人づくり」にも繋がり、「人生いかに生きるべきか？」という問いへの道標ともいえます。自然の森は、色々な種類が混ざり合っている。人間社会も同じで仲の良い者だけ集めても発展は望めない。お互いに他者を尊重し競争し切磋琢磨してこそ、良い組織や社会が出来るのです。生態系を含めて万物の画一化が進む中で、「多様性」こそ肝要と先生は強調されています。

# 2021年11月26日 ～湘南国際村めぐりの森・育植樹体験～

## 湘南国際村めぐりの森

神奈川県横須賀市にある湘南国際村の約112haの広大な土地は、バブル期の開発計画が見直され、宮脇昭先生のご指導に基づく混植・密植方式による森林再生活動を実践しています。2009年から、官民一体となったプロジェクトが生まれ、私達も積極的に参加しています。

毎年、5月と11月に植樹祭が実施され、大勢の方々が集い「森づくり」を通じた交流の輪が広がっています。また、「どんぐりブラザーズ」の湘南の風・横須賀ヘーメットの皆さんと研進スタッフによる育樹（除草）を、毎週、金曜日に実施し、自然の中での充実した日中作業を継続しています。

植樹は、発芽して2～3年の樹高30cm以上の苗木を使います。植樹後2～3年間は、雑草の生長により日照が遮られたり、つる性植物の被圧により生長が阻害されるため、定期的な育樹（除草）作業が必要となります。苗木は1㎡あたり3～4本と密植しているため機械は使用できません。すべて手作業なのでかなりの根気が必要です。公共の森については、「いのちの森づくり友の会」基金が、メンバーの労賃の貴重な原資として活用されています。



平塚市 袖ヶ浜



### ○参加者

- ・株式会社オカムラ様 8名
- ・株式会社研進 出縄社長
- ・社会福祉法人湘南の風（えいむ・えるしい）8名
- ・社会福祉法人敬愛 5名
- ・株式会社リンクプロデュース 合計23名

### ○プログラム

（午前10:00～12:00）

- ①湘南国際村での活動概要説明
- ②混植・密植方式の説明
- ③育樹  
植樹地（D地区）の保全のための除草作業
- ④補植  
植樹地（C地区）の混植・密植度を保つための植樹8種類60本



# 湘南国際村での活動概要説明



# 育樹作業



# 補植作業①



# 補植作業②



# 補植作業③



交流

